

2016年11月29日

全国大学高専教職員組合 御中

熊本大学教職員組合  
執行委員長 館石宏明



「熊本地震救援募金」に対する御礼

拝啓

皆様におかれましては日々ご奮闘のことと存じます。

2016年4月の「熊本地震」以後、皆様および加盟単組からたくさんのお見舞いとご心配を賜りまして、心より厚く御礼を申し上げます。

ご承知のとおり、今回の地震では震度7の揺れを2度体験しました。大学構内には最大2,800名もの学生や地域住民を受け入れました。附属病院では、被災した多数の患者の診察および他病院からの患者受け入れに奔走いたしました。教職員一丸となり被災者のケアを図りながら大学運営の正常化に努力してまいりましたが、おかげさまで7か月経た現在は授業もほぼ平常どおり行われ、学園祭も11月に開催されるなど、完全な復旧にはまだまだ時間を要するとはいえ、元気な姿を取り戻しつつあります。

さて、皆様からの義援金の扱いにつきまして執行部で慎重に検討してまいりましたが、本学の早期復旧こそが教職員の働く環境の充実に繋がると考えるにいたりました。そこで、皆様から寄せられました義援金に熊大教職組で集めた募金を併せ、本学の「熊本地震復興事業基金」に寄附させていただきました。

本来であればご支援いただいた皆様ならびに各単組に直接御礼申し述べるべきところではございますが、この書面にて御礼の挨拶に代えさせていただきます。

敬具